

質 疑 回 答 書

東京学芸大学(竹早)附属竹早中学校体育館等改修機械設備工事

令和8年度

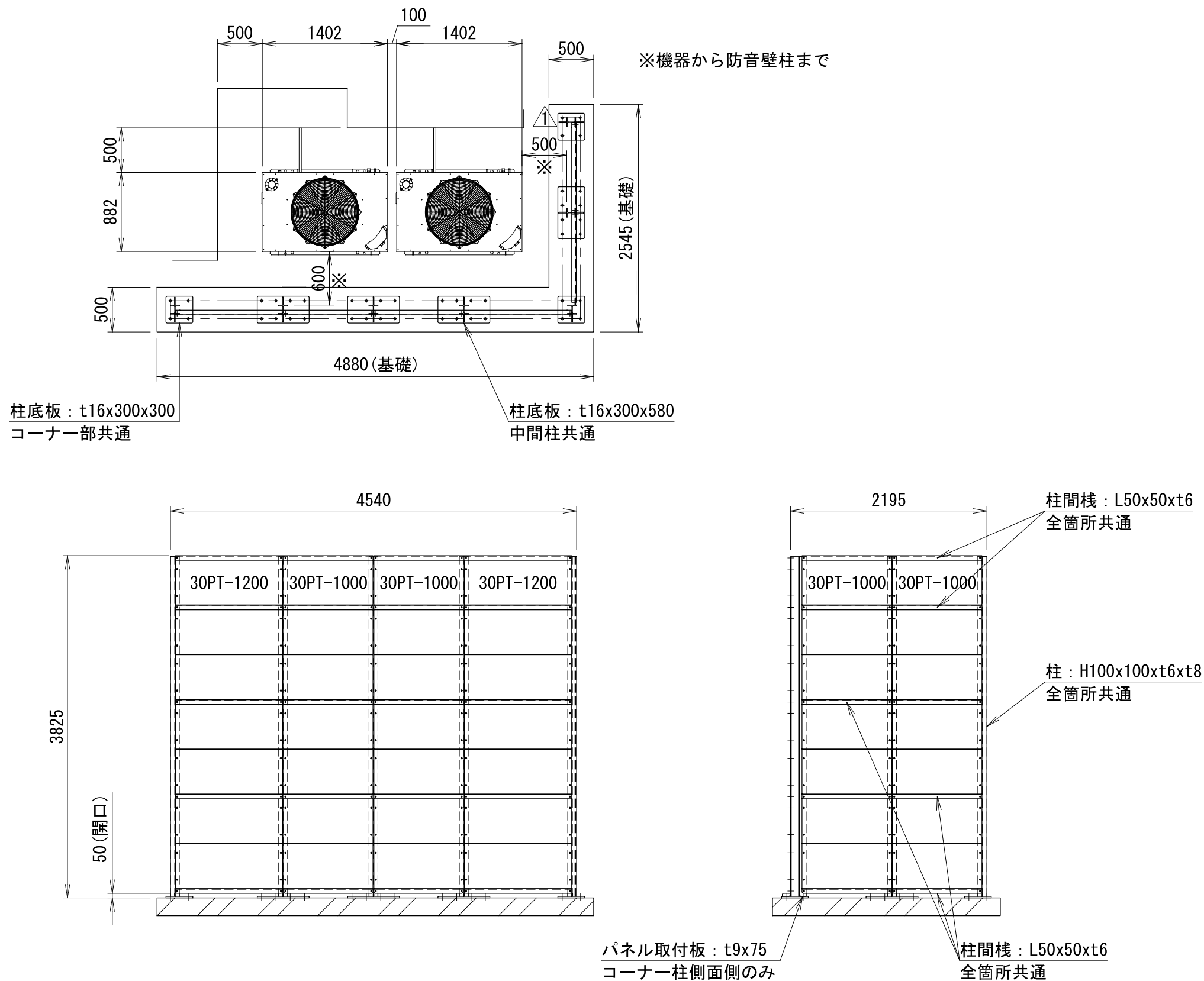
工事名 東京学芸大学(竹早)附属竹早中学校体育館等改修機械設備工事

	質 疑	回 答
1	(M-24)防音壁の骨組みについて、材質や重量等の記載があるものの、骨組みを構成する鋼材に係る具体的な詳細をご教示頂けますでしょうか。骨組みの建地はH鋼かつその他山形鋼等を組み合わせた骨組みかとお見受けしますが、どのような種類・寸法の鋼材を組み合わせた骨組みなのか。耐力計算のうえで基準風速が定められ、骨組み質量も735kgと定められているならばある程度の骨組み詳細計画図(姿図)があるものかとも推察しますが、その資料がございましたら頂けますでしょうか。	参考図として別図1参照。
2	設計図に撤去図面がない為、室内機や冷媒配管、ドレン配管類は新設という認識でよろしいでしょうか。	宜しい。
3	中学校のホームページを拝見させていただいたところ壁際にエアー搬送ファンとバスケットゴールが設置されていますがその間に天吊り室内機を設置していくような形になるでしょうか。	現在は送風機は撤去済。バスケットゴールを避けて室内機を設置すること。
4	【工事条件】 機器資材および廃材の仮置き場は本工事建物付近に設置できるものと考えてよろしいでしょうか。	工事用地を使用すること。工事用地は現場説明書の別図参照。
5	【M-04,10,20】 各所GHP室外機廻りの木、フェンス、スペース等の現況が不明です。 中学校体育館、中学校武道場、小学校体育館において室外機の搬入および設置をどのように計画想定していますでしょうか。(室外機設置場所の直近まで搬入車は入れるのか、レッカーが必要な場合は何tレッカーを想定しているか等)	室外機設置位置近くまで搬入車両を寄せる事が出来る。搬入計画は契約後現場調査を踏まえて計画すること。
6	室外機の搬入方法をご指示お願いします クレーンが必要な場合の大きさもご指示お願いします。	質疑No.5参照。
7	室内の冷媒配管は配管化粧カバーのみで防球対策は不要で良いでしょうか。	不要とする。
8	新設で浸透枳を設置する部分は土と考えて良いでしょうか。	屋外浸透放流箇所は土となるが、浸透枳を設ける箇所は全てアスファルト舗装。
9	都市ガス配管の各サイズでの配管長をお教えてください。	ガス設備平面図M-07、M-17、M-23参照。
10	都市ガスの図面で屋外の配管支持方法をお教えてください。	契約後別途協議とする。
11	都市ガスの図面のアスファルト撤去復旧で、仕様・数量を教えてください。(平米・深さ・他仕様等)	契約後別途協議とする。
12	室内・外のELBは選定機種に沿った容量のELBが設置されている認識でよろしいでしょうか。	宜しい。
13	室内電源盤位置をお教えてください。	室内機の電源工事は本工事外。
14	室内電源から室内機までの配線種及びサイズをお教えてください。	室内機の電源工事は本工事外。

工事名 東京学芸大学(竹早)附属竹早中学校体育館等改修機械設備工事

	質 疑	回 答
15	防球ガード上のネット等の設置はバレーボール想定でのネットでよろしいでしょうか。	宜しい。
16	空調機メーカーのご指定は有りますか。	なし。機器表記載能力を満たすものとする。
17	【数量表の内容についての質疑】 細-4 小学校体育館の配管工事に浸透桝の記載がありませんが、図面M-20にはドレンを浸透桝に放流の記載があります。浸透桝は不要でしょうか。	「浸透桝に放流」ではなく土に浸透放流のため、浸透桝不要。
18	【入札説明書の内容についての質疑】 ・図面M-04・11・12に、アスベストの対策を行う旨の記載があります。 本物件は、レベル3のアスベストを含有しているものとして、上記以外が発生した場合は別途協議として宜しいでしょうか。	宜しい。
19	図面M-04・11・12に、アスベストの適切な養生・離隔と記載がありますが、具体的な範囲としては、室内機設置箇所および配管ルート部分を離隔するという考えで宜しいでしょうか。	アスベスト撤去作業時、作業員と第3者との適切な離隔を確保する事を示す。
20	特-01 石綿含有建材の事前調査を行うとありますが、箇所数をご教示願います。	図面M-04、M-11、M-12による。
21	M-24 防音壁の基礎は空調機の基礎と一体でしょうか。 図面通りの200mmで転倒の恐れがないか懸念されます。	M-24記載の防音壁仕様書は参考とし、防音壁メーカーと打ち合わせの後、基礎形状を決定すること。

別図1



防音壁仕様書(参考)

現場名	東京学芸大学(竹早)附属竹早中学校 体育館等改修機械設備工事		
備考	東京都文京区		
基準風速	34 m/s		
地表面粗度区分	Ⅳ(大都市部)		
設置高さ	GL		
パネル型式	30PT		
外板	SGCC(t0.8)		
表面処理	焼付塗装 アイボリー色(日塗工B22-80C)		
パンチングメタル	SGCC(t0.8)		
吸音材	ロックウール(80kg/m³)		
骨組	SS400		
表面処理	溶融亜鉛めっき HDZT56		
付属品			
骨組組立ボルト	M8x40L		
パネル取付ボルト	M8x40L		
据付ボルト (非付属)			
アンカーボルト	M16		
接着系アンカー	44 本		
有効埋込深さ	110 mm以上		
基礎上ボルト長	50 mm以上		
防音壁総質量	約 1,100 kg		
内訳			
遮音パネル・扉	365 kg		
骨組	735 kg		
騒音目標レベル(文京区基準)	45 dB(A)		
※暗騒音は考慮できません。			

